



第 18 回 例会 報告 (11月11日)

【 出 席 報 告 】

・会員数	54名	・出席数	35名	・欠席数	19名
・当日出席率	75.00%	・前々回修正出席率	93.87%		

<欠席会員>青野(淳)、原(竜)、檜垣(巧)、藤田、近藤(正)、桑森、松木、西本、大澤、竹田、瀧幸

[免除会員] 青野、原田、松本、宮本、村上、野間、高木、八木

<10/28 欠席補填>(10/17 諮問委員会) 飯 (10/19 松山) 村上(裕)、大澤 (10/26 今治南) 檜垣(俊)、檜垣(巧)、菅、栗西、光藤、越智(務)

幹事報告・11月18日(木)は職場訪問となっております。訪問先は潮冷熱株 新社屋です。12:30より例会開催。地内に駐車場をご用意しております。親睦活動委員の皆様は会場の準備がございますので12時までにお越し下さい。

ロータリー財団委員会アワー

西信正男委員長: 今月は、ロータリー財団月間です。お話させていただきます。ロータリー財団は、1917年米国ジョージア州アトランタで開催された国際大会において、アーチ・C・クランプが「全世界的な規模で慈善・教育・その他の社会奉仕の分野でよりよきことをするために基金をつくろう」と提案したことに始まり、「ロータリー財団の使命は、地域レベル、全国レベル、国際レベルの人道的・教育的・文化交流プログラムを通じてロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行し、かつ世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援すること」となっております。▼財団への寄付については、毎年一人100ドルの寄付をお願いしており、年次プログラム基金は、ロータリー財団の主な資金源です。その他恒久基金、ポリオプラス、ポリオプラスパートナーなどの使途指定寄付があります。ロータリー財団は2010-13年度「世界で良いことをしよう」と未来の夢計画を掲げています。1. ポリオの撲滅。2. 全てのプログラムと運営の簡素化。3. プログラムの成果も内容も未来の夢計画に沿ったものにする。4. 地区レベル、クラブレベルにおいてロータリー財団へより一層参加し、ロータリー財団を自分達の財団と自覚する。5. プログラムの目標達成のための十分な資金と人材の提供。6. 未来の夢計画を支える効果的な方策の開発。識字率アップや、疾病予防、治療などは未来の夢計画を支える効果的な方策です。▼ロータリー財団の未来の夢計画への変革として、複雑になりすぎている財団のシステムの簡素化、コスト効果の適切化、ロータリアンの積極的参加、成果の持続、ロータリー財団の使命感が上げられます。これらの変革をもとに、夢計画のプログラムを、2013年から実施計画中です。内容としては、新地区補助金、グローバル補助金、ポリオプラス(ポリオプラスパートナーを含む)プログラムがあり、夫々の分野に教育的・人道的プログラムがあります。ロータリー財団の年次寄付の使途を選ぶ方法のシェアシステムについては、現在20%地区活動資金に割り当てられていますが、2013年には50%割り当てられます。残りの50%が財団活動資金に当てられます。本日はご清聴ありがとうございました。



<ゲスト> 米山奨学生 張婷さん
<ビジター> 大阪西RC 桑森章様<弁護士>

次 回 例 会 (11月18日)

【 職 場 訪 問 例 会 】

日 時 : 2010年11月18日(木)
訪 問 先 : 潮冷熱株式会社 今治市矢田甲185 (0898-34-1230)
開会時間 : 12:30~

敷地内に駐車場をご用意しております。

{ 笹 }